

高齢者の権利を守ります



警察官を名乗る男から「あなたの銀行口座が犯罪に使われているのでカードと暗証番号がほしい」と言われました。どうしたらよいでしょうか。

警察官が電話や訪問で、通帳やカード、暗証番号などを要求したり、受け取りのために銀行員を派遣したりすることはありませんので、絶対に教えたり渡したりしないでください。

近年、高齢者をねらった振り込め詐欺や悪質な訪問販売などの被害が増えています。怪しいと思ったときや被害にあったときには、地域包括支援センターにご連絡ください。状況をお聞きした上で、警察や消費生活センター、行政などと協力して対応します。

今は大丈夫ですが、将来、認知症などの病気になったとき、財産の管理が心配です。



将来、認知症などで判断能力が衰えた場合に備えて、「成年後見制度」を利用して、後見人を選んでおくことができます。

「成年後見制度」は、財産の管理や、契約のときなどに不利益をこうむったり、悪質商法の被害にあったりしないよう、権利と財産を守る制度です。くわしくは、地域包括支援センターにご相談ください。



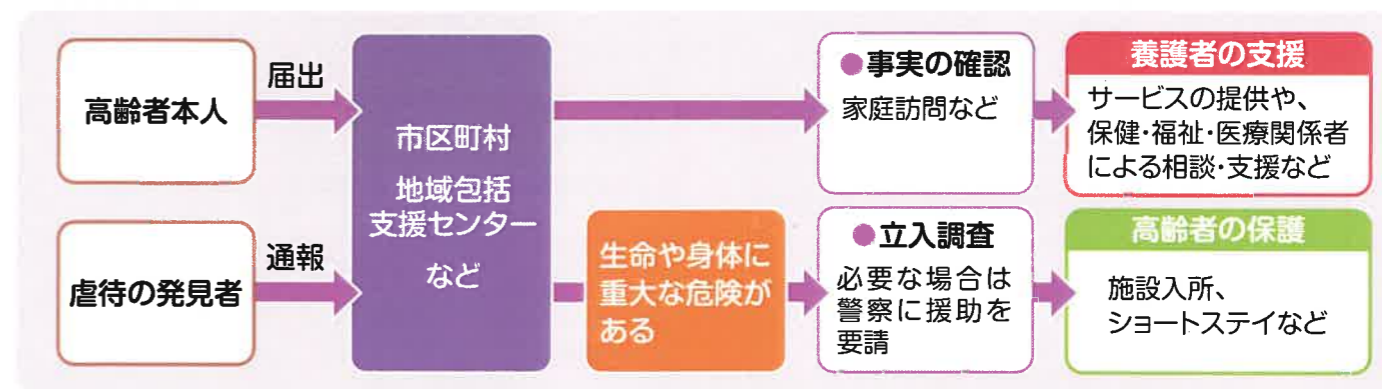
認知症の父親の介護に不安と疲労がかさなり、イライラしていつも父親を怒鳴ってしまいます。

介護者が、日ごろの介護で心身が疲労し、追いつめられていることも、虐待の原因の一つとされています。地域包括支援センターでは、介護者の介護の負担、ストレスを軽減するためのサービスや情報などの提供をしています。介護者が一人きりで問題を抱え込まないことが大切です。周囲の人の協力や介護保険、福祉のサービスを上手に利用しましょう。

近所に虐待されているかもしれない高齢者がいるのですが、どうしたらよいでしょうか。



虐待を発見したり、虐待があると思われるときは、迷わず地域包括支援センターや市区町村に連絡してください。通報した人の「個人情報」は秘密にされますので、ご安心ください。地域包括支援センターは、虐待の早期発見・把握に努め、必要に応じて老人福祉施設などへの入所など、ほかの機関とも連携して高齢者を守ります。



● 包括的・継続的ケアマネジメント

暮らしやすい地域をつくります

地域包括支援センターでは、高齢者一人ひとりの心身の状態、生活環境の変化などにおけるさまざまな問題を解決するために、医療機関を含めた関係機関のネットワークを活用して、支援をしています。

また、地域で働いているケアマネジャーが日常業務をしやすいように、サービス事業者や医療機関などとの連絡調整をしたり、ケアマネジャー同士が情報を持ち合えるようにネットワークをつくらせたりして、高齢者のみなさんが暮らしやすい地域をつくります。

